

西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
 (2011) http://nshp.jp/



▼臨床工学部から▲

病院の臨床工学部が開設されて1年が経ちました。臨床工学部は年々進歩する医療機器の専門職として患者さんと医療機器をつなぐパイプ役として業務に励んでいます。また、現在の医療現場ではさまざまな専門家が集まり、チームを作って患者さんの治療に携わっています。臨床工学技士はそのチーム医療の一員として働いています。

臨床工学技士法の中に「医師の指示の下に生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする者をいう」と定められています。生命維持管理装置とは具体的にいうと、人工呼吸器、人工透析装置などを指します。まず、人工呼吸器から説明します。呼吸とは体内に酸素

を取り込み、体外に二酸化炭素を排出しています。呼吸ができなくなった場合に、呼吸機能の一部を代行するのが人工呼吸器です。その保守管理を私たち臨床工学技士が請け負っています。

次に人工透析について説明します。腎臓では体内で不要になった物質や水分を尿として体外に排出しています。しかし腎不全などを発症すると、腎臓が機能しなくなります。そういう患者さんにおいて腎臓の代わりをするのが人工透析です。その人工透析装置の操作ならびに保守点検を臨床工学技士が行っています。

他にもいろいろな業務に携わっていますが、今回は代表的な業務を紹介しました。



▼西脇病院「健康セミナー」▲

毎月1回、西脇病院医師による「健康セミナー」を開催しています。

▼とき 3月17日(月)
 午後3時～4時

▼ところ 病院講堂(2階)

▼講師 皮膚科医 藤川義明
 ▼演題 皮膚における薬物障害

▼参加費 無料

▼問合せ 病院総務課
 (病院内線366)



▲毎月開催している無料の健康セミナー

健康バンザイ

99

西脇病院の医師が健康や病気に関するさまざまな情報を提供します。



骨髄移植から、末梢血幹細胞・臍帯血移植へ
 血液内科部長
 松井 利充

前号で「末梢血幹細胞移植」という言葉を使いましたが、いわゆる「骨髄移植」と呼ばれてきた治療法の一つです。1990年にノーベル医学賞を受賞したトーマス博士が「骨髄移植」を最初に実施したのは、今から50年以上前です。過去20年で、移植に用いる造血幹細胞源は、全身麻酔が不要な「末梢血幹細胞」やCMでも流れている「臍帯血」へと拡大。患者さん自身の造血幹細胞を移植する「自家移植」と、兄弟姉妹や非血縁者からの「同種移植」があります。自家末梢血幹細胞移植は悪性リンパ腫や骨髄腫の標準療法の一つで、西脇病院でも実施しています。抗がん剤治療だけでは治せない白血病・リンパ腫や悪性度の高い骨髄異形成症候群(MDS)などに同種移植が行われます。21世紀に入り、「ミニ移植」と呼ばれる同種移植の技術開発・普及とともに移植年齢の上限が引き上げられ、70歳まで標準的に実施する施設もあります。骨髄腫に対する自家移植も70歳まで一般的に行われます。リンパ腫・骨髄腫・MDSは高齢化とともに増え、移植件数も増加しています。我が国に骨髄バンクが設立されてから20年以上が経ち、難治性血液病の患者さんの命が数多く救われてきました。平成26年1月1日から「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」も施行されました。すべての移植医が移植を勧めるとは限らず、実施すべきかどうかは移植施設や移植医の間でも意見が分かれる場合もあります。昨年10月から日本造血細胞移植学会認定の移植認定医も誕生しました。周りで悩んでいる方があれば、セカンドオピニオン外来をお勧めください。

▼エントランスホールギャラリー▲

WANT TO 絵画教室による絵画等の展示です。

▼とき 3月3日(月)～31日(月)

▼ところ 西脇病院エントランスホール

▼問合せ 施設管理課
 (病院内線363)

▼紹介状持参のお願い▲

西脇病院では、地域の診療所(かかりつけ医)との連携を密にするため、病診連携の強化に取り組んでいます。より一層の強化のため、また、診察を短時間で効率よく受けていただくためにも、初

▼糖尿病教室▲

終了式

これだけは守りたいけど：困っていることなどご質問にお答えします。

▼とき 3月28日(金)
 午後2時～3時

▼ところ 病院講堂(2階)

▼臨時パート職員募集▲

西脇病院では、管理栄養士、看護師、助産師、メディカル・ケア・サポーターを募集しています。

▼応募 随時受付をしておりますので、詳しくは病院総務課へお問い合わせください。

▼問合せ 病院総務課
 (病院内線366)

◎管理栄養士

▼資格 管理栄養士免許をお持ちの方

◎看護職員
 ▼資格 看護師免許または助産師免許

▼資格 看護師免許または助産師免許

▼はなみずきの会▲

乳がんについて話し、ともに歩んでいきたいと思います。この会はどの医療機関で治療を受けていても参加いただけます(事前申込み不要)。

▼とき 3月29日(土)
 午後2時～4時

▼ところ 病院講堂(2階)

▼対象 乳がん経験者とその家族

▼内容 交流会、薬剤師による「お薬の副作用」に関する話

▼まちの保健室▲

地域住民の健康サポーターとして、三木・小野・加東・加西・西脇で「まちの保健室」活動を展開しています。西脇地区では、開かれた病院として西脇病院内で実施しています。健康チェック・健康相談などを行っています。

▼とき 3月8日(土)
 奇数月の第2土曜日、午前10時30分～正午

▼ところ 西脇病院エントランスホール

西脇小児医療を守る会コラム 67

ママにだってできるんだよ!!



勉強会の開催

2月3日、へそっくランドにて、0～1歳児をお持ちのお母さんを対象に勉強会を開催し、約40名の方が参加してくださいました。

参加者のほとんどの方が以前西脇病院の小児科が入院できなくなっていた事をご存じではなく大変驚かされていました。



勉強会では小さいお子さんをあやしながら、皆さん一生懸命にお話を聞いてくださいました。私たちが勉強会を通して伝え続けることの大切さを改めて実感しました。

これからこのような勉強会という形で地域や子供たちのために活動を続けて行くことができると思っています。出張勉強会などもしています。ご興味を持たれたグループや団体様がありましたら下記までご連絡をお願いします。

◆問合せ 西脇小児医療を守る会
 ☎090-8538-1337 石井
 http://www.kodomonomirai.com
 info@kodomonomirai.com

西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1
 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日(年末年始を除く)
 午前9時～午後5時
- ◆問合せ ☎23-5380

○病状やけがの様子など電話であらかじめご連絡ください。電話が混みあいご迷惑をおかけすることがありますが、しばらくしてからおかけ直してください。

○必ず健康保険証を持参ください。

3月の出務予定医師	
3月 2日(日)	上田 久美 先生
3月 9日(日)	天野 昌彦 先生
3月16日(日)	富田 誠人 先生
3月23日(日)	矢持 健 先生
3月30日(日)	生野 哲雄 先生

※西脇市多可郡医師会の医師が交代で、入院を必要としない内科系の軽症患者の診察を行います。